

第37回 全国都市緑化ひろしまフェア 基本構想の概要

1 基本理念

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界中から広島へ多くの人々が訪れる平成32年（2020年）、広島ならではの花や緑等の地域資源を活用して、県内全域で回遊と交流を生み出し、花や緑の大切さと平和の尊さを世界中の人々と分かち合い、より一層の豊かな地域づくりと世界恒久平和の実現につなげていくため、県内一円で全国都市緑化ひろしまフェアを開催します。

2 基本方針

- 花や緑等の地域資源の活用
- 花や緑等を通じた回遊性の向上
- 地域づくりの担い手の育成
- 国内外への魅力の発信
- 平和を象徴する花と緑の祭典

3 開催テーマ

- ひろしまフェアのテーマ

ひろしま はなのわ 2020
 ♪「花笑（はなえみ）」ひろしまから花と笑顔と平和の わ ♪

「花笑」とは、「花が咲くこと」または「咲いた花のような笑顔のこと」を表します。ひろしまフェアの開催により、県内の花や緑等の地域資源の環をつなげ、豊かな地域づくりの輪、笑顔の交流の話、平和を基調とする国際交流の和を広げていくことを目指しており、それらを通じて、大きな「わ」（環・輪・話・和）を形成したいという想いを込めています。
 さらに、花と緑に音楽を加えて、「見る」「触れる」「香る」「食べる」「聴く」という「五感で体感するひろしまフェア」としたい、という想いを音符マークで表しています。

○ 緑化フェアの全国統一開催テーマ
 『緑ゆたかなまちづくり』
 ～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～

4 基本的事項

主催者等

主催者	広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町、公益財団法人都市緑化機構
共催者	国土交通省中国地方整備局
提 唱	国土交通省

開催時期

平成32年の春から秋を基本とします。
 （期間中、全国都市緑化祭を実施します。）

会 場

メイン会場	中央公園（広島市）
協賛会場	国営備北丘陵公園（庄原市） 県立せら県民公園（世羅町） 県立びんご運動公園（尾道市） 県立みよし公園（三次市）
スポットイベント会場	県内23市町のスポットイベント会場

事業展開

- 広島が持つ花や緑、伝統文化等の地域資源を結び、各地域間の流れを生み出すとともに、県内全域の様々な主体の参加を図ります。
- 各市町の花や緑、伝統文化等の地域資源をスポットイベントとして魅力の向上や人材育成を行い、一体プロモーションで国内外からの誘客促進につなげます。
- メイン会場、協賛会場を設定し、各市町の紹介ブースの設置や各種イベントを行うとともに、スポットイベント会場等の情報発信やツアー等の拠点として新たな回遊を促進します。

入場料等

会場への入場料等は、無料を基本とします。
 （一部既存有料施設の他、有料イベントも検討）

目標入場者数

開催時期、事業内容、交通対策等を勘案して、基本計画において設定します。

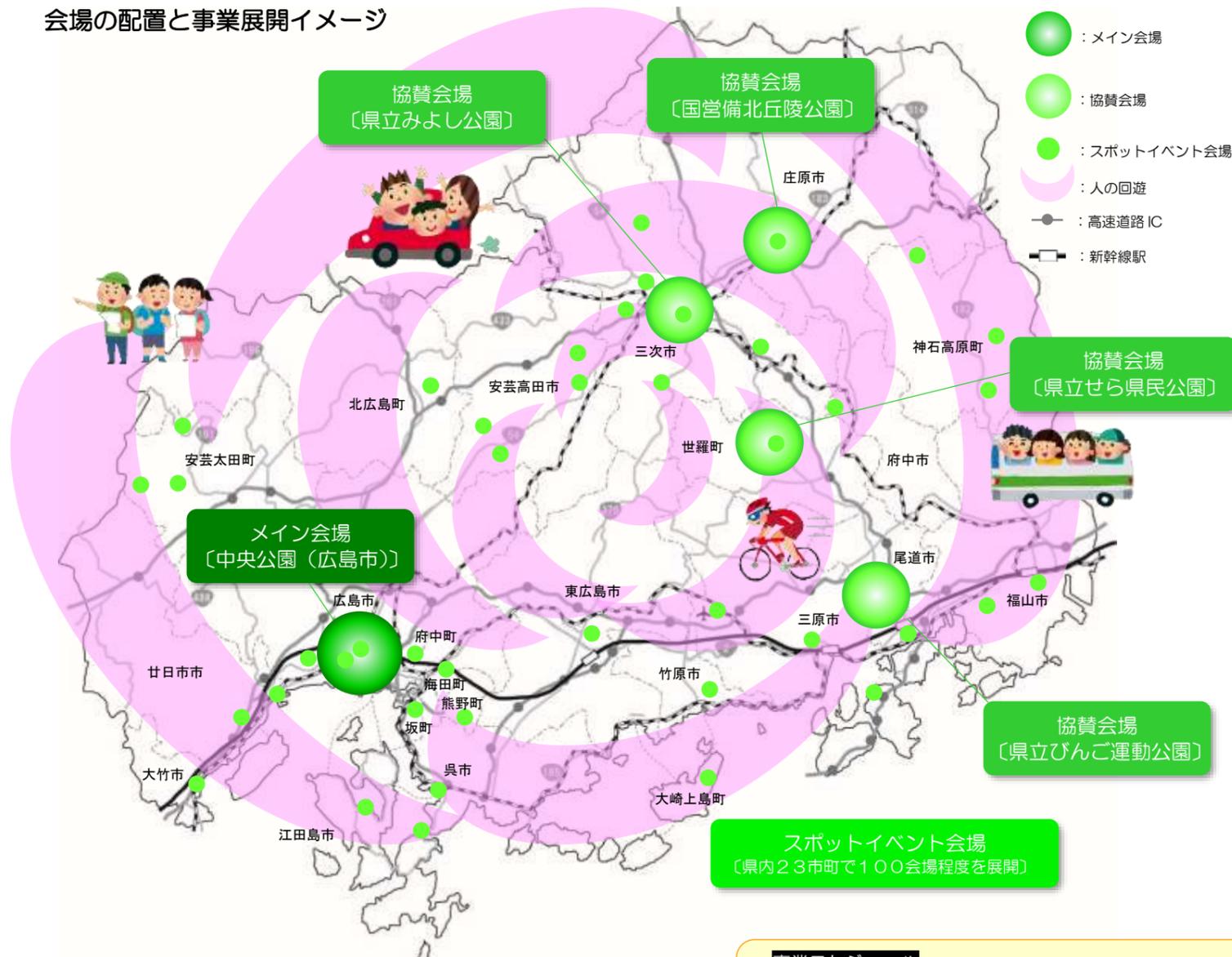
愛称・シンボルマーク

基本計画において、開催テーマを象徴し、広島らしく、広く県民に親しまれるものを設定します。

5 運営計画

基本計画において、「出展・展示」、「行行事」、「会場運営」、「広報宣伝」、「植物調達」、「交通輸送」、及び「協働推進」等について、ひろしまフェアの基本理念や基本方針等を踏まえて計画を策定します。

会場の配置と事業展開イメージ



メイン会場イメージ



協賛会場イメージ



スポットイベント会場イメージ

6 事業推進計画

事業推進体制

県内一円での円滑な実施及び運営を図るため、また、ひろしまフェア閉会後の更なる発展を念頭に、主催者、関係行政機関及び関係団体等により構成する実行委員会を設置します。

事業費

開催時期、事業内容、交通輸送等を勘案して、基本計画において設定します。

事業スケジュール

2017 (H29) 年度	2018 (H30) 年度	2019 (H31) 年度	2020 (H32) 年度
基本構想	基本計画	実施計画	広報宣伝等
		基本設計、実施設計、会場整備	ひろしまフェア開催（春～秋）
			撤去
国土交通大臣開催同意▲	▲実行委員会設立		実行委員会解散▲